

ユニオンファンド 月次レポート

第 140 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年7月6日作成

MONTHLY TOPIC

買いか売りが見送りか

株価が回復してきたため、まだ買って大丈夫か、それとも下がるのを待つべきか、あるいは売るべきか、迷っている方が増えています。今のような時に限らず、投資には迷いや躊躇がつきものです。

「損したくない」、「時間がかかる」、「コントロールできないことは嫌い」

行動経済学という学問での実証研究によれば、損失による心理的ダメージを埋めるにはその2-3倍の利益が必要です。それほど利益を上げるのは簡単ではないので、まずは損失を避けようとするのが普通です。ちなみに賭け事は、平均すれば損なのに投資額に対するリターンが非常に高く感じられるため、好む人は少なくありません。宝くじでは1,000円に満たない購入で1億円当たることがあるほどです。一方、株式投資の利益と損失の倍率は短期的にそこまで高くないので、賭け事ほどの魅力を感じにくいという面がありそうです。

行動経済学はまた、目先の現金は将来の現金よりも「ありがたみ」が強く感じられるとも教えています。100万円が生み出す利益が1年後では10万円、7年後では100万円の場合、1年後の10万円を選ぶ人が多いようです。年率の増加率は同じ10%なのに、です。株式投資は利益がすぐには得られないことも見送りの一因と言えます。

やや別の観点の話ですが、自分でコントロールできないものを嫌う性質を私たちが持っていることも関係しているようです。在宅勤務中にかかなり人が部屋の整理をしたと聞きますが、部屋の整理は自分が決断し実行すれば確実に成果が得られます。しかし投資は、実行した後に、価格変動という自分ではコントロールできないものに成果が大きく影響されます。他人に自分の将来が左右されるというのは、心の弾む話ではありません。

人間は感情だけではない生き方を選んでここまで来た

投資は、損するかも知れず、成果を得るには時間がかかり、結果を自分で制御しきれません。これだけとって、人間の自然な心理や感情に逆らう行為に感じられます。ただ、私たちは言うまでもなく感情だけで生きているのではありません。人類は新天地を求めて危険で長い旅を続けてきたのですし、目の前の米粒を食べたい欲求を抑えて来年のために種を撒いてきました。現代においても、節約してためたお金で、見返りが分からなくても子供に教育の機会を与え、企業は稼いだお金で最新の設備を購入します。株式への投資においては、コントロールできない価格変動の影響を抑えるために、投資タイミングを分ける「時間分散」という手法を生み出しました。

表題の「買いか売りが見送りか」ですが、まずは余裕資金の多寡や運用可能期間の長短などによって結論は異なってきます。そのうえで、判断が感情に左右されているかも知れない点に留意しつつ、じっくりお考えいただくのが良いでしょう。考える手間をかけられない方は、投資成果を得るには時間がかかると割り切り、時間分散による投資を続けられるのがやはり良いだろうと思います。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年6月末現在)

基準価額

22,896 円

純資産総額

71 億 05 百万円

期間別騰落率(%)

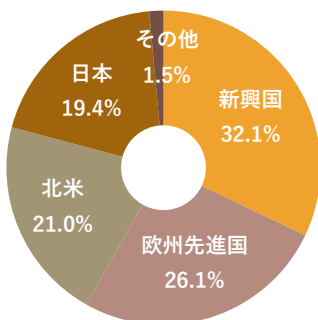
1 ヶ月	2.25%
1 年	-1.09%
3 年	-4.26%
5 年	1.45%
10 年	83.59%
設定来	128.96%

複利年率(%)

7.34%

*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比

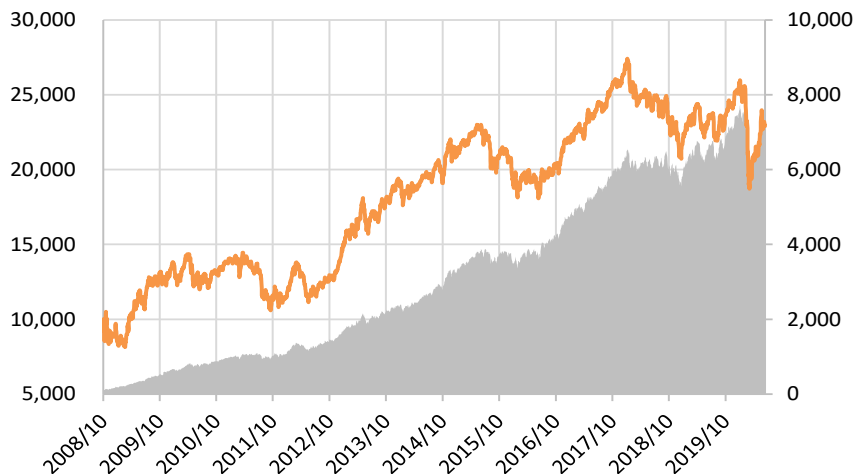


投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年5月末現在)

基準価額と純資産総額の推移

基準価額 (円)

純資産総額 (百万円)



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.6%	-2.8%
スパークス F	日本	10.6%	-0.8%
キャピタル F	欧米	17.2%	1.8%
ハリス F	欧米	17.5%	0.0%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.2%	3.7%
コムジェスト・エマージング F	新興国	28.6%	6.7%
現金等	-	10.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年6月の市場動向と運用状況

投資環境

6月の世界の株式市場は、前半は好調でしたが月の半ばで失速するなど、株価はやや大きく揺れ、その後は総じて膠着状態となりました。株価の変動をもたらしたのは引き続き新型コロナウイルスを巡る状況です。

前半は、新型コロナの感染症が先進主要国を中心に鈍化してきたことを受け、外出規制などが緩和されて経済社会活動が回復するとの期待が高まりました。その後反落したのは、感染が世界的に再び拡大ピッチを速めていることへの警戒感が強まったためです。投資家の間に広がっていた楽観ムードの反動とも言えそうです。

米国では、人種差別反対運動への対応を巡ってトランプ大統領への支持率が大きく下落し、代わって民主党の大統領候補であるバイデン前副大統領への支持率が上昇しました。政権が民主党に移れば共和党政権が実施した法人減税と規制緩和が逆回転する、との懸念が高まったことも株価反落の一因と見られます。

運用の状況

基準価額は若干上昇しました。2月以降の株価急落前の水準に接近していた日本株は小幅安となり、主として日本株に投資する2つのファンドは値下がりしました。一方、3月後半からの回復が鈍かった新興国株と欧州株は、中旬以降も底堅く推移したことから、これらの市場に投資するファンドが値上がりしました。

売買につきましては、前月に続きコムジェスト EM Fの一部を売却し、他のファンドは買い増しを見送りました。月末時点の組入比率は前月末より若干低下し、89.6%でした。

今後の見通しと運用方針

新型コロナ感染症は、一時に比べれば状況は改善しており、特に死亡者数の増加が抑えられていることは明るい材料ですが、感染拡大が止まったわけではありません。特に米国と中南米、南アジアを始めとした新興国は引き続き警戒が必要な状態です。また、感染が一旦沈静化した国でも、外出規制の再発動など難しい判断が求められる局面がありそうです。

経済の回復ピッチも緩慢であり、回復に時間がかかるとダメージがさらに広がる恐れがあります。米国では大手シェールオイル会社が破綻しましたし、産油国も厳しい財政状態におかれています。新興国の多くは財政基盤が弱いために、感染症そのものへの対応だけでなく経済のテコ入れも困難な国が見られます。6月にIMFは一部の新興国の成長率予想を大幅に下方修正しました。国債の格下げリスクが高まっている国も散見されます。6月は株価こそ堅調でしたが、引き続き新興国の状況には注意が必要と見ています。

中期的には、金融財政政策による景気下支えもあって世界経済は回復を続けていく可能性が高そうですが、投資家の間で楽観見通しが広がり、リスク回避姿勢が緩み気味な点はやや気がかりです。このため、上げ過ぎの反動に配慮して、当面は全体として買い増しを慎重に進め、新興国への投資比率は引き下げていく考えですが、市場を取り巻く環境の変化で前提条件が大きく変わる可能性もありますので、柔軟な対応も心がけてまいります。

運用責任者 久保田徹郎

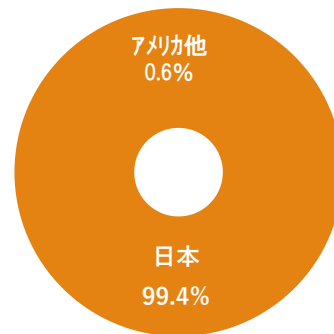
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



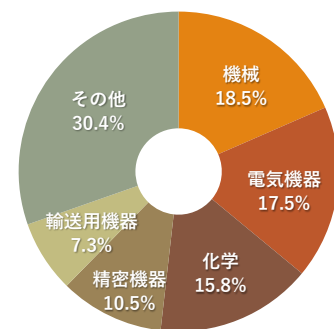
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.0%	日本	機械	エアコン世界首位
3 花王	4.6%	日本	化学	トイレットペーパー首位
4 テルモ	4.3%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 信越化学工業	3.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
6 浜松ホトニクス	3.7%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
7 プリヂェストン	3.7%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
8 TOTO	2.9%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.8%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 三浦工業	2.4%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	38.5%		現金等	8.0%

業種別構成比



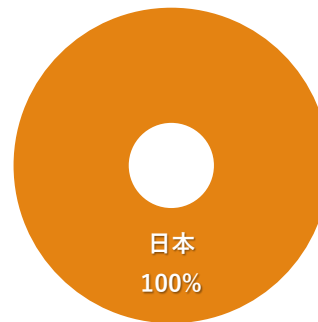
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年6月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



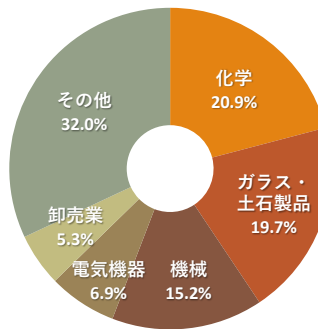
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
関東電化工業		日本	化学	半導体製造用特殊ガス等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
ペイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
エフピコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等			現金等	6.1%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年5月末現在 >

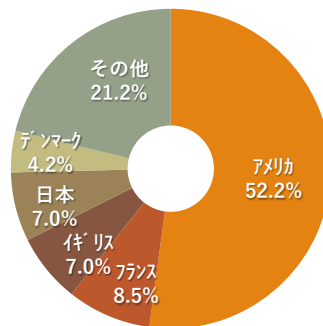
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



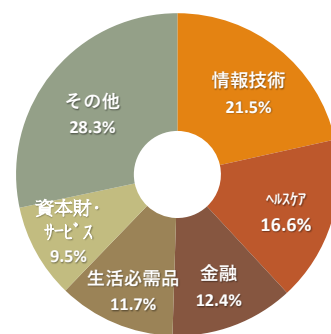
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 Visa	2.1%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
3 AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
4 Broadcom	2.0%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
5 TSMC	1.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
7 Seattle Genetics	1.6%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
8 Reckitt Benckiser	1.6%	イギリス	生活必需品	トイレット、医薬品、食品
9 Apple	1.6%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
10 AIA	1.6%	香港	金融	生保・金融サービス
上位10銘柄	18.3%	現金等	7.0%	

業種別構成比



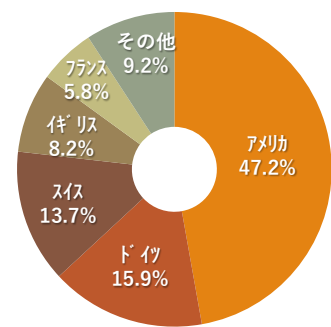
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年5月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



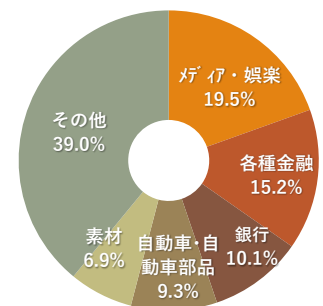
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 BNP PARIBAS	5.6%	フランス	銀行	フランス大手銀行
2 ALPHABET	5.4%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
3 DAIMLER	5.3%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 CREDIT SUISSE	5.3%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 GLENCORE	4.9%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
6 ALLIANZ	3.8%	ドイツ	保険	総合保険大手
7 JULIUS BAER	3.5%	スイス	各種金融	プライベートバンク
8 BERKSHIRE HATHAWAY	3.4%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
9 HILTON WORLDWIDE	3.2%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
10 CNH INDUSTRIAL	3.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
上位10銘柄	43.5%	現金等	3.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年5月末現在>

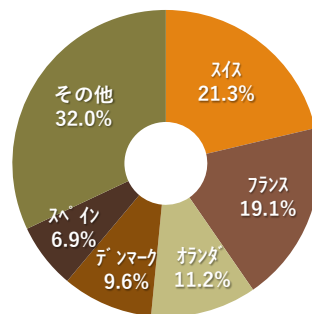
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



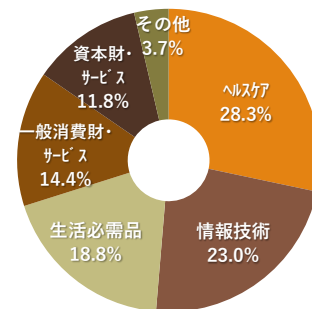
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.2%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 ASML HD	5.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 NOVO NORDISK	4.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
4 HEINEKEN	3.8%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 LONZA	3.6%	スイス	ヘルスケア	医薬品・バイオ
6 ESSILORLUXOTTICA	3.6%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
7 AMADEUS	3.5%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
8 SAP	3.3%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
9 STRAUMANN HD	3.1%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
10 JERONIMO MARTINS	3.1%	ポルトガル	生活必需品	スーパー等、食品流通
上位10銘柄	39.1%		現金等	6.8%

業種別構成比(マザーファンド)



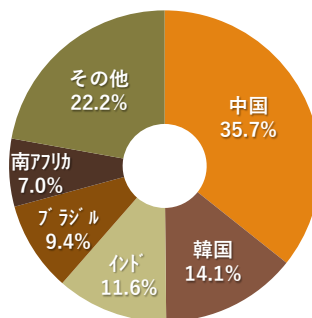
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年6月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



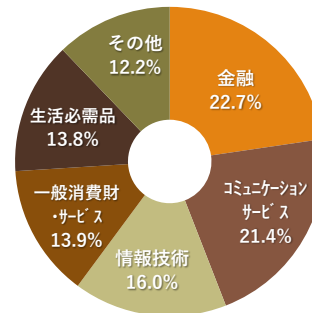
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 NETEASE ADR	6.5%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
2 PING AN INSURANCE	5.7%	中国	金融	保険大手
3 TSMC ADR	5.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 SAMSUNG ELECTRONICS	5.3%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
5 ALIBABA	4.3%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
6 NC SOFT	3.8%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
7 HENGAN INT'L	3.7%	中国	生活必需品	トイレットリ製品国内大手
8 POWER GRID OF INDIA	3.5%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
9 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.1%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
10 NAVER	3.1%	韓国	コミュニケーションサービス	インターネット検索サイト
上位10銘柄	44.7%		現金等	1.9%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改訂について

2020年6月30日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたしました。

【今回の主な改訂箇所】

1. 委託会社情報の更新
2. 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

取引残高報告書について

今回、「2020年4月～6月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2020年6月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。